

成田市自然観察会

ワクワク探検 坂田ヶ池総合公園で生きもの探し

谷 優（成田市）

日時：2024年7月26日（金）9時～11時30分 天候：晴れ

場所：成田市坂田ヶ池総合公園

参加者：19名（大人9名 子ども10名）成田市環境課職員2名

担当指導員：伊藤、小川、藤田、井上隆、谷、菅澤、宮本

じりじりと照りつける太陽、今日も朝から厳しい暑さの観察会となりました。この天候のためか参加者のキャンセルがだいぶありました。そんな中でよく来て下さったと、20名弱の参加された方に感謝したい気持ちです。

チーフの小川さんから、スズメバチなど危険な生き物に対する注意を聞いてから出発。まず草原へ移動して生き物探しをしました。小さな小川も流れています。沢ガニ、トンボ、バッタ、カエル、トカゲ、チョウなどたくさんの生き物を見つけ、プラスチックのカップに入れていきます。ヌマガエルが大変増えていました。タイムキーパーの菅澤さんが採集時間20分を告げ、水分・塩分の補給をしっかりと行い、体調不良を防ぐように努めました。

次に浮き橋を渡って広場へ移動し、カモフラージュゲームを行いました。10メートル四方に囲んだロープの中に、赤、白、茶色の3色の楊子が落ちています。時間内に、どの色の楊子が何本拾えるか。大人も子どもも夢中になって探しました。やはり、茶色は見つけにくく、生き物が周囲の色に合わせて敵から見つけにくくしている工夫を理解しました。

後半は冷房の効いた管理棟に場所を移しました。大きな生態系ピラミッドの上に、採集してきた生き物の入ったプラスチックを並べていきます。「小さな生き物を食べる生き物」「植物を餌とする生き物」がたくさん並び、坂田ヶ池公園生態系ピラミッドが完成しました。この後の「しぜんのひみつ」の紙芝居と合わせて、タカやフクロウなどピラミッドの頂点の生き物が生きていくためには、その下にいる生き物が豊富に存在しなければならないこと、そして坂田ヶ池公園の自然の豊かさを理解しました。

参加者から ○初めてトカゲを捕まえて嬉しかった。○子どもと久しぶりに一緒に虫を捕まえて楽しかった、等の感想があり、暑さにも関わらず、観察会を十分に楽しんでくださったようで、我々指導員もやってよかったと感じました。



危険な生き物の防ぎ方



虫取りにチャレンジ



何本探せたかな



生態系ピラミッド